

裁判員等経験者との意見交換会



令和6年1月12日(金)に、鹿児島地方裁判所において、裁判員等経験者と法曹三者による意見交換会を開催いたしました。

参加された5名の裁判員等経験者の皆さまからは、大変貴重なご意見をいただきました。

また、今回は鹿児島大学の学生の皆さまに別室にて見学をしていただきました。

皆さま、お忙しい中ありがとうございました！！

裁判員等を経験してみて

- ・自身にとって、裁判や裁判所はあまり関心がなく遠い存在であったが、身近に感じることができるようになった。
- ・裁判が長期にわたると、特に遠隔地や離島に住んでいる方などは、大変そうだと感じた。また、職場の理解を得るための体制作りが必要だと感じた。
- ・年齢や性別がバラバラの人たちが集まることで、様々な目線から議論をすることができた。
- ・言いたいことが言える環境づくりのために、お互いに配慮しながら評議を進めることができた。各々が、自分の意見を述べることができた。

大学生からの質問

クエスチョン

- ・裁判員等と裁判官との間で、意見の相違等ありましたか？

アンサー

- ・視点の違いを感じることはあったが、何が重要かということに関しては、納得できたので問題はなかった。
- ・難しい用語についても、分かりやすく説明をしてくれたので、考えを理解することができた。



これから裁判員になるかたへ！

- ・経験する前は刑事裁判に関する基礎的な知識もなく、不安があったが、自分の価値観や考えを大切にしながらやりきることができた。
- ・決して、一人の意見で判決が決まるわけではないので、気持ちを楽にして参加してほしいと思う。
- ・自分の物差しで物事を考えるだけでなく、他者の意見を聞き、理解しようと心がける姿勢が身についたと思う。いい勉強ができる場として、ぜひ、参加してほしい。
- ・はじめは不安もあったが、様々な知識を得ることもあり、参加してよかったと思う。自身の子供も興味を持ち、「傍聴すればよかった。」と言っていた。